回 林城城 きと Stroff war

即水域明記在歌集 撰者 画圖 葛命教舎

催主為統總連

日本殿時記在歌集

初春 あくてくろわられりてかるようとういうできているはらう 神でのいきというけて世の中には自めるいとれるかん 続いてよるのうくのなるとれずでのしくうのるとえせるう ちからやらるは代の季れかあそういめってきても 支令舎蟹子九撰

まるでくととのれらしてのあってもあるとあからり そ代はろ補からかれぬるとのからしくとるとうるいろうるとう と自のめくろくりの車井子切ちのようとろうろうろうろう

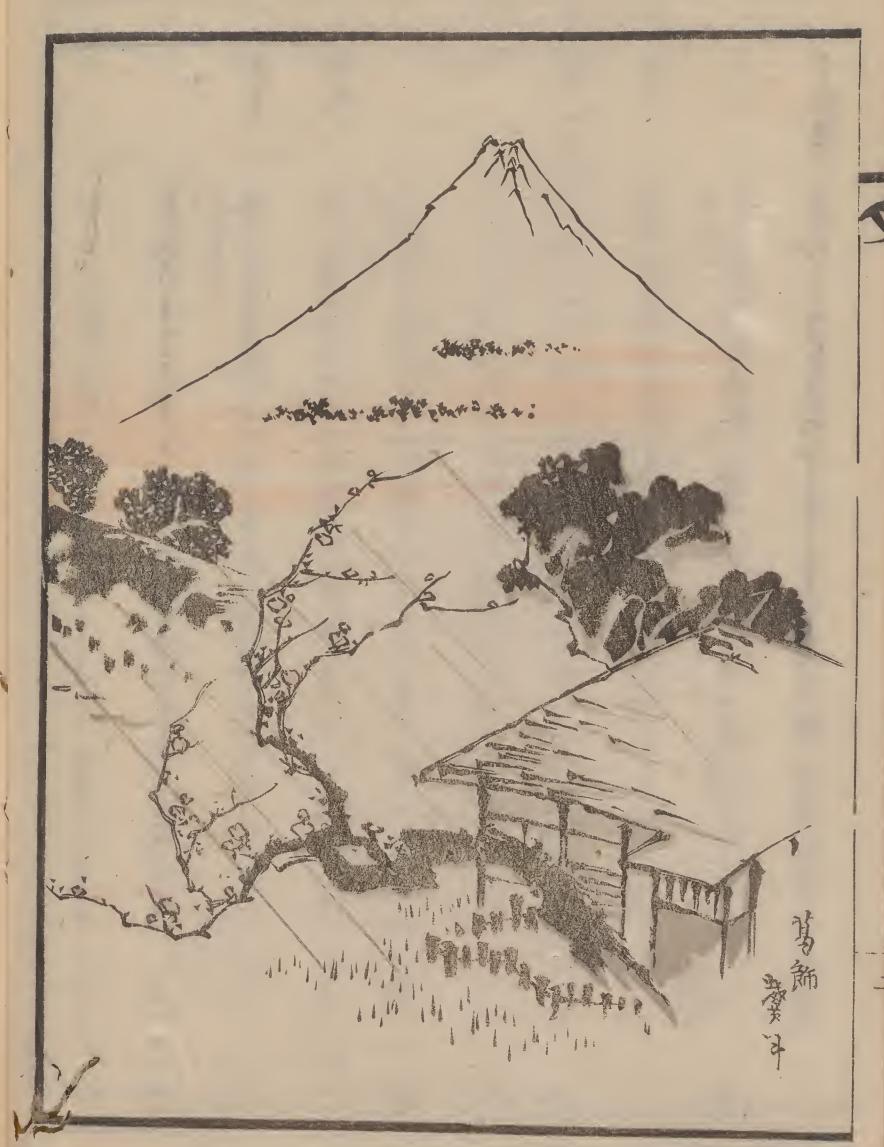
若水

すってきてきるとのもつもっちょうて良いけもあったっちょう

福茶 **暑**養 春臺 初夢 試筆 かろうあくめるく井倉はおくろのままれてるからのうかい るかとくめるの情のではくうのはめのうさろうつろう 社会のかつるようものるかとくるるないようとうという なってのまるないであっているのしのであるとりろうからう 一番のちのるかととくとのは、一からはのかしきやちつくのれ ろうりのころううれらせる回のかのそのとくの名 きるとうでいあるらからそめのねるもうやまで彼のきけ つれいさうからかのもりらくてころうりり めてくろ おりいい行のするのそのでしまれ甲むると弦にのふしのそろぞう 一版めてくん 妻をとうなってんる人のととうしてるりかのあっ そぞろやおくん 舊 挑 東成 花 圆 方 業

展示奏 七種 若菜 **马始** 早春霞、ろゆるようとうしてあってあのぬいつけてあるとう るちのねのできり対てりかゆうとえてるいろのちょ いていくうくろうろくのまとうのもからいまのるよう 佛まりにはないとうろいせるといれたのもっちゃっていてくる 一般めてくろん 大切してけるるととなくともろとめつるちので行 めてくろく あのはうろうううっていまるとうとろうてくられてき 心人のよいなるところのいるののかかけをそういく ちるしたかるろくくせているいろうれるころもあるちかり とうのわらううてらぬのまるあくっとくているの かろうるおかれいかしたなるとう 一限めてくろん 455 のなっつるま 貫 九 雪 成 業 期

あある える からか えから る頃回の 种榜 佐路的八 万葉真 白毛舎 都喜九 大学人 名甲發之陰 钦父天宫 文賜舎海老九 るろないるの 円々子津兼成 在鏡園梅門 533 369 395 飞风



山震 湖上霞 野霞 なのあいつちもうえぬからのいるのになる めいき井いなうのおきかところううとうあるかっ むっきるのうかししいってんれの女のろうかっとう 初るのうくていてもうめらりなかとりといるあのえり とうとうようのくずりかいはそのるというようとうとうり ハラうろうちちららしてものうからもってものら のてなさあくりとゆうろうてきつちのあのまかいきろう そうのからのうとるつくっとかんのまうくろうろうのなるべ 一限めてくろ そうで大いするととううてきあるというりうたりぬるとろとの言 りさいくってもかまちろく同のかりととこううゆ The same 尽語 樓 東 ngagastile manetile ngagastatilitis 型 龟 T. 道 业

省 鹤 海上霞 るときつろうするのうといれてきのまるとうてよりん きてきめのせるるるかくてもろうしい大きいつうゆうようせんかう そのあっちのあくあやらのなとといくとれてよりしん でうらうとうとりはつくれるとうかあらえ うとうるかまつくれ人のんとくくうろういそのるる 二のなくとうってほうかいけんのつてろうろうかんの一きっと ありなくさるちろとはそろてきくろうのはるいち のちゃんのあるとそととなってなくるできるからの 一門めてそろ 去のむくくうとあの物が胸曲いけるくろうとくてろう いくまてくううのであるのまつかあるよけのな程 めてくくん 一月りてくく人 梅 松 並 礼 屋 業 潼 住 門

雪師 梅 めてくろん まってい うからとうろうな大いろうのちろうなるかてあるってん 多なりとわりいではいまっとをうてくてるるのかく はるではを伸のは、ちゅうなってあるとなっていっていた そろれてやれるうちものとろろろうろうろう ちろはまそれい技しきつまっくってんそのなるな まちょうできるののあるあのうくさいろののこちの解居 一限めてくく であるようかれたまのあるとと、ものくるうののでな 日本くちょうくいんつといろしくもとものちょうちょう のならのれいきょうでするたねとのあるうといれ のわるのまられたるりしてははでくりうう

梅風 族中梅 海辽梅 水以梅 霞中梅 きをよめてくるあるのはるみけはつてたちのはん おうなるところいりなとと人の物はあっているまで あるまとうとうとうないさまってかはないよう 生かられのものようなよりしてあめるでをあるつ 村田うりかくきょうるおうくろうとものからうくちて そのためきとく不協のかちうてとあるううできん 真くさくとはようしきくけれいなあのあのますとれては そろくうきるのうすのなるとないるるをのとくないん そのえてろうろうちろうちろうちのあのうれ めてくろん あるとをなのがのそのまるあの名 津華成 これといろごろ 楼在老高梅

一時めてくろん

春風 やてくるの物の風めしやきなったちのもろんのふ まるなり数うちてん物からしれなるとくろうな ちいくくちってんとうのうとうの名といろしつけれているる す福のううのかのとうねてるとうとうせるを見るとできん おきのはくろくうのはかまでなかくれまるあるる 一いらって あってうるととはうちろの中小をですりのようなあのる 世の人をあっさるととそれいものあれっつつゆくせう まついからなかしくみろうかのいるからつてるとさると おうかのつのうでくのいるごまでするからくるでくるをおかい ふれいあめしるのなるよかでよれのう 草产春春 海老 旌

春夜 きてかとちてせるなくある技不多了りのあとるこ ありるいなりといれかいれるやろうとかくろうためる きてくくろのさきつのもれるくしときあからいとうなるか からういろうちきまれてるとうてゆうまるなのま るそうしのあいようくるさんなのるとまるれのまま くてってあのきてくようとあっまる間れの物でな そろのまるちしてまる物のことうのいまっとようかまん あってくとうかつれてまたいあっためいようくらせんう もろわとうかくしていまれのあくいのえなくてりせてよう いるうをおうてくるのかのあのほろ 音半敦 盖 近 澄 信 孝

干

福聚舎 賴 好 まそろんろんをあの 体でよ 写のおより ゆきろけるの 大多小 きないたを きのかかり 阿猫人 南木堂石成 不多念力 豊の屋綿芳 文泉舎鈴敏 己二日全

初午 春曜 春月 あるのうとうとうとか手かる者ななけれられからんかとん わるとろろんかといる抗して気をなりか年まつう おろくりといろくいとなくはろうとのうとう るのきものもちそんにんしてうちめれてるのとか 神るやえるまる数のいるうめてマーの再もつれていかっ 気は根の後のもつのはふかしせんとあれるのかろの ゆうるにもれのまさくいはてくてんしきまちらの まのあの日のあるうちゅういさくうのであるからい えてきかいろれるとくべろろのろうつう かけているるとですとうまのかの同のううしてきなるける 有意

春雨 年まつる福名の村のあのちゃうままるのもととなるといるといるという せのやかそのわっきをわらせんともありたとまちあって 各名のけくてあってるないかるととはいりてあるのかる さくあいつっちってから帰しもいのういるそうとのの病 はきのたれてかっていくとううようとう 田野津

るなかろうでである。あるかつってるるののま 直

えなとくてあるとしるかろうのるのへいもつちょう くろもいまのるいいのほとうてなることをからってかって

ちっかっかってもつそれととえでくていのるりまとうとまる かるのかとときってんなとうでもとうう 辛言

2

遊糸 まったいあうかしそのる双子かいめととってくるとめのた 持うわるさくかあるろれてからくるとうるまあのまるのか 多のせてうるとといわいるもれらいのちれのかろうろ るってのせれからなるなるはますあるのとれてるとあ ちのでのないすさねってのものできとかくむする さんれのけはませてあるっとんしくれてあるかちてある あっていからろえる神んかちはいめんやしくるる 見のもいれるなをくうていあられやうるまるの好

似多花 逐日 さくってきによっていたあのつのであるとうのとうと ろちんりもしませてあるあいありろうう 世のやけっとをは、のとうというあらりなることのある さくううとからもういてまっとかり甲をするたろうかのる なくのくうできゅうろうろうかられてあるといろる からくあるいよくとうともしてるちゃしゃくろん さんなのまるというかってるとろうと 万 道 海

はってきるろのありいくさん、あるようととしかちゃんへきろい

ろいるくかられるなの物多好はるかれるころと

めつるめゃううるいつけるとうでくのようなもしいましてでく

さくっともうかくまるいろうしてれのもってもろうろ

るというなりしてるるのるのろうのれずていめれるる

待花 折花 初花 隣家花 乾かけてよう一様の少ちすぬする物をもくせるする さりかのくできてとうちょういったとう ようこれいきなる人かろうとはうりかくるとくさくれつ あるささかですってのゆるいいくきてもるるのもりの 打あらないではのをとうあるかちろうとうとうろう あまくくるはなのろくとろくやれのできる格声 まつれのつくのとうりつくつきっているくめい おあれるのあるかられきはのか物のつろのも後 めてくろ 一内がくろん 一派めてくろ えぬくのくとくろくろうくのつとかりましてとなった るとうないろうまれているといろうろうろう 白 字 毛 業 屋 峥 舍

水以花 山家花 名所花 雨中花 たうあくなったっともちんちかれてるめるいとうと 同れせあるのとはるるのぞううくいをからくつる そうくしているときるとのはいろうくまりからののありまくつ 一川めてくろく るるろうくくのうしまいとうとうあれいまするる 不得く見るの何いようのからるのできるしなりいろう さてもるるのゆついりろれかるをあるとうむもの事か まなからさくしのうからできるとくとうのいろうるないのから る風い伊めのそろれくなりくろくん様のろうのもない一にめてくく かりのののはろうかっとものもつろうとくとととなっているの井 さくるのうくうとありてちゃのきろうしえくいろかられる 文学 屋 守 貫 主

なってい をからのらせ るであるこ るよろ しの き 公ろろ 支泉舎 **** 見もさそうる いろろう そうとうんろい 萬泉亭 月あつろうて るろれぬ ある 種世



社頭化 海辺花 田家花 山花 おくてんけのでとせるとろうはるのであっせる特点なる 少かろれ、見ようとうとはなかの人ようろうろうとして ちりののきまってきょううかられよううととある るれはかってくくくとものの一言なまるころのきのちんろ 破らのうろのあるころいろかりまうつにあるくめ ろうとうであるかられていりとちょうとうとのあめとぬ となっているとうのもろのれるも一村とうくるであのまっても をこいってもしたかのまずようりりんり加らるはない ちくありもくとくしまないかのようとくてるかとる るとの日くくれぬとってうろうであるるとはあるはは 松朝東花 上十瀬屋 文多春

		u			9. 14				
To the second se	桃蕊	名所挑	批	春山	Ar ety .	蝶		海棠	春歌
おきはうかともそうてかのかと一日まった。私のさらつき	あれる人もなんとなくのめらむうれのるのとのる。日日番	あるのはその私に考するとなったとうせてもろうと語機	さく松のそのさらかれていくさくものととでもある	見までのけるかいかのかっていまったかっているかっているとう	関係かかくったいろうないようくろうとうくのくません	かられて横かってるとなったとうなくるからとして	はきまのことはいれてきょうててかとつするとでなくからる	はきのである。なりますけらすからしのぬうつくらうりょう	それてくのであるのかとせずるとしてのあるともしくできるす
持	H	尽	石	Ht	長馬	東	Vanadille Vanadille 400\$	鈴	仲
	E	岩石							
方	墨	樓	成	躬	喜	变	兼	繁	澄

カチ 雛 まのからからるなどつのろとてもの何るのんといけん人 を続めさくてよりのゆきおもったうつるがめてい はうけってるものろうちろうころうろう 部かれるではるういるといろといろうとうう あったはそうかとるはすうかのをとうやきてないる ぬくるのできぬいてそくできるのまてもめてもうかはるとう は多いようできるべての一ついかのろうとうすれるという ころれりまの多なもとするれてえかるとはようできている は干りとはますているとうと人ままりかくもろうけてはい 教徒のするとろれまててけていかりてもとろんとうろくう はの手ばるいろってうるとのにのは、見とい 買 長 片 道 左 丸 業 丸 義 住 村 构 武 住

以吹 椿 種育 苗代 娃 一川あるとろ るのかましめれらめくでするうるまう たっとざいけのれのそろかれてころもあるころらのか - MBT-あるいのおうなってするい廻くあっくはいるうと 秋まていつうのをそこ日内の新る時的る小田の首代 さくようのちるれようの川ろのにあるわるるの めてくろ るのでそうる経典を低ゆするとはもあくつめり はのありめりかやせんとうくないのうけんしておろうであるん とうくかもいめきてものちてるて人あっろうに、竹のおの くのかっちょくいされてる時のきょとうろうのら吹のそれ はろとれる後い 善 回面 尽語樓 東 影 礼 示さ 種 堂

松上藤 春鳥 暮春 閏三月 ちょうろれやふるはくしまの川はけのまちのからあるい。熊父 とうとなってとかくろのとうついりなっているまっていき さいめ川つくえるとうくころのはようかくるとうのもま とうめてくれいるいるのとの物ちろうとかりいくけつ をされのおかってはるのうろうかろうとるののでかって くうのき、井をむくとえぬるいるのやあるるるのであ いんとでくろろうなちてんるいろかもろくろうる あどのあるとうとやきてかんかるりをめかるころかれ られのももくろいちしてきのとてあるるのろある めてくろ まのからうとうにはられてくるあるのかいありるからるをれる 若砂羊 白毛舍 、 室市事

夏なるるとありいきらようかまっきつようやくうさくのかり ・たろくと、横もちれる後さらる猫さくちょうかられる。 うるのはまりもろうてきれてまるつむあるるなかり きぬくのというとのできぬくとうもろうとかろうか いってうりてるであのきくうりんあのにありれるのなる 見らるうううくてくならいるしきんのえどうるやさん られていくちのうりののかなんだうちとつとているいであり とのその意めるかろうくうの様をきまっている 大の产うるうさんのありちゃとらくりつるのない おくてしてしまいるくんなるられたるるのつい 一次ので 唄 信 織

更 百夏 衣 風 的なっとい物をあるてるるるろうれてくるまときれん めるうかられるものあまけるいるできるようあちんろう きろれてろうてるやものりれぬかちつくするのはる 一川めてくろ るのないというないとうとくられると 相るとうるあっていれるとろって移及のちっと えるうかなけのあるとあしてちとしてあるとういろうと そのにまてといるるくれているようのもである ものにするとうこれているのかいうのしきるとをかだめいる さくらるれたしと見をむるらいわりまりろうにそのな めてくろ 伊かさくりほうろうていいるでとうとまなとうるという

きのからていのかられぬさくていりまつかるためられら きくろうかのるいぬきまてているいいのつるとう るがかっててもろうつまとはくくむくしきかうのかくしまる その多とからをうてらぬようかとうりとある そうてかのぬう一月のこめないろうれとうてるるろう 神るものろうしるととなりへてなからりのとうううけん えるくてきいかりとあれられきろてきてして はるある 吹見りするるるろうをものあるころくせつり ろうさきるるぬそのきるるのうろいるからまやつち まるのでのはつくとはできていてもくくせてあるころう **难** 季 見 楽

SPIN

花 粉 をつけるうろうくろんらのまのは、後とうことるせて きょうとうとればらむいろれてれてなるかられてをかられ きてくろうよう、ゆうとくついちのとうしていったくとうわら させているとうとうとうとうとうとうないというできた それてるころうるとの大事なのある様だるかのでんとるろ 一大田との かっちなかのかいとなるいてまってるとうしている まるとろろらうかとしてものあるまるか まさくしもです からかのあくくのしてつくるくはから そうさととなけらいめらてのちる大のものうさうかまると様 きるのやとろう 一時のなくろ めてくろう たのまるようではなり ぬちの下うけ

おうくくれろうちくいちゃくろうんちついろううでといってい

路入のちの人いるのでくるもろうしありまうかろう きってはらうむものあしうつうろうからのなる あられてきの人のるって、他からいしいのうとそれ 七きいきくそのかりぬろうのおのねれんとうろうち うしてるいってうてくるるのとてあるしとかるできるの えの多小のなくくれてのとうあれてまされかれなることか 子の多の少彼めろうとはく見めわるいもうくりきの唇を 牧地~~~ ら行めるいろれるうついてうのあるこうとをかられるう 一切ろめるつくくまるようはあくって

かるころできるのろのうけをといれるうまたのするかまった はのかうちもうとういうくうのでしきういるとうとりまする 思まるはらのかくいするるとうできるちろはうはす りあるころ なるとのうからくくりつとのないとくてきるのかのさくてとってん うつうしましていてはまなる人のちともあるかのを いっちれいをなってるとかってはるとうるためかって めてくく おはのゆくとくさんとくるといめののとうとなっている は多といううよせてえんむっちょうのあるめのをのたる となってのそのもうてのもっさくかないあのちまれ をうちゃくときとうらいのはくるはのうのとうなり

さるるなっとかっとかくてかのくるものはみられる くのうのなどまってあったるいは根のあるまっている そそろうなうかられのもあってくろうときせるのかいのま やれたのないくろうてというとうてとくろうろうかろうかるのま 神るうまかかっきりのからでするとかってもいるあるさ でうくそのあろうちがあるととありくなからのうける むうとときのからうのかろうとな様子ぞうこので はまつまとははくうのものはゆるといあるろうれたり うのその他のなるないないるううるがんのできるとある まるむ中きたのかのかいますまりるきなとるん人

美いあって多くとうれいんであるのであるとうためるる もあるるとはゆろうなからくろけっろりつからるる でくれるはれのこのないまするこのはあるうる きるとめつくめいをはくのるとなったりからてきてるか うのうちの中人似るしゃしかつくしろのうちのう そろわのうちともうできているのかしくこのまるいのでも 役ろくわけるかくとうちかってるためりのそ かのうちるとうしていくうくうろうな 10のからいちのつゆうよはなりていろうささる人ものかのま はるちゃつるかのをなってるとのきでやかりともあつ 十旗屋 琴

水辺卯花 あるわのあるあいてんか川のちのかりよいもうつのる 老さくてまる。は、やのとくでん、あのうちかろうの元 お見るあつちろんからいかってるあるとはの個布 でうちてほかくするるかないなるるでもはる ありめゆうてくさるとろでかかのまのもろう時のあとう むってくればおうとうぬかのもいなくる人そとくくうして さてきのはてはいるんとかるなりありのちのかる うのうのまのつからるけんや被はの人いちくうからん いるちゃっちゃってあいまったもう目もころんなかるとな **蒸炉** チ、フ 红、 **落**須加 唐 光 覧

か川のさいななななのうのないからるなりとなって

复期牛 ろうかとできるてからあっまったりしてくむしつのえ 夏曦は佛の孝がとうてるかのうちはくむはいとうろうか 山家卯花 岡印花まりやしてっちんようもううさいれともののとのそれな 既 ころうのうろはんかのものまるからくりるかんろう いるなるるるできのとろういろうしももしぬあるりのかん おうかのうちゃくろのかのるようの佛のをなるとろう かのるのはのやようとうかてるなるものくさくうのは うちんからなくろくれるでいまさんをそうまかりのそれ 川のかってる けんのうできるかせん世のありようちめかすのるでんとく 一川のでくろ らいろうちしまでとしたからまさんはっとおりかのる 一宫 多須か 江州 不同 可可 並

すらくせて むんの るろれてそろと 属の砕さめる そろくあうれろ そろれのでう あるとのく 亀の屋 来树園 延せる 秋やもめてくせ きのうか

して

奏条くてるおくまつつものうむなあってもやろうころからり 卯花賣むなりとうくうあんのへのうさろとうのる 年でうかではりまれるおおれれるうくまでもなるるのかれ あれるとうろうくろうやろうなんろうなってろうなない おきうみのはままとうしろうとうとするしれからのよう くてとうからからむるもちにはいううるもろうできてきのこ めてくろ うのふのきの中へとまれるくせるといとうとうた人 せれるうかるまされてどはらぬけんかる時かける がいろうるとは、せくまるの世るとしくとは人内が存作 は佛の声なるととろれていうううまてく用と後ち 寄居持着基本 蓝黑 海老丸

地震演あってるいまることをいうらう状に多りと日本ないて 改屋費のであってむとうなてまれる人からろうかでいるとはを実 團科賣 遺 吉具 いるよれのほうとはつくしん思しのえてきろうちょう そうりのあるとめからかさろうりまける人間にのあやはあ はからまえくものもかしくともしめるるるとさんのあると たるのしてもとういるるのでとろうのあきるもと 文るる人よいられる他ありとうんせんされているくった人 商人のうりりないほとろといるといるとどろせんう まろうかるるこうともうりはうらんあってとそのくしかなるのでき 一川めてくく 近鷹半 小鄉 策注

Ē

苗

賣うとめんしまのろくの他格よからそういさくれがのる

葛湯りなるちんろくあくなのうとうとうなるる い大貴はあのを初のやうかとろってんつろとりできる路のもりふ 声 賣 わっなかるを傷のからつまわめしかめせているく南人 個自るいさくときのきろうってくろうん世をりてる人 曲はなるしかましせてくせるうもろうしてのでろうてる 高人のうるのでようくずれてらいとうと神のあされ あのうからいとおってやとよゆってせいろうるとう商人 はるとさるからているくる人はとうくせてもるんち つるかってもとうころうのかせるよくなくる人するちんれ めてくろん 一川あるると 人のから文華によいるろうあるといろのとの人 愈然

鳥 子ちるんのまるつつつの英でのなってるものからともはって そろういとの中のかしき人をあのろううてあてるてあけ あるできるとねのであるべてろうかっちかけれる 福のうとるかはのそろせるうれてあいるえてもあん まてくちなまるのとするのとなるとうのなるできん 内のみかかっていのこのであるとうとうのかいとれ おりる打場よういでくてとうるかのかるもちい あるというなるようととというとうとうなのはあれ はるからのなどろれなるかろうしなかろう 一川あてる あると神とのせるしているれや日のかめろうときってきく 為道海が善忠歌海年

見ねの 多年 あるとる 文鵬舎 海老丸 おアスと せあのむあら をあるる かりいるやせの るなる 七面堂 る梅明 安人来



特時鳥 随るゆもろうちあるいとれもあってちりあけるう えるのようとあくしとのそうながらいかくきん つのあるであるれんはるあるのほうとう打ちうる うくいきのねるよういて横小多をうせるられてきな 多様ようより回の破らちとう像うあかりきんか かってんとうめてつるかく事でんめなる思想あるう 川めていろ ねのるううかではいきんべいととる関やうちん おうろうなくくるというなっているのの双間の音 うらのものもろうとうておうきかるうとうないできた あるはつうろういけるはくする場めあやある 春至海西仝 唐仙 文 土。

初時島 夜時鳥 るやうくのうではのようるようられては一き物できる 一たのはするけけはるたりしろうるるとく よの中人とはるとてあつのれどううとるはるうち あのはてかくてろうとはそのようでくるとうありのかるい 一川あてくろ はくろうなすようろうありてはようなようなからそうろう めてくろく からようちろうむくなるくなってあるとろうとのよう はるまろあるかるてありときてしるのとうめとくさる かっちろははれるあちってとれる人のあることろく あのからとと人のたろう くくろかくきろ 水 登 世 成 静千友草麻布 業 雄秋世雄

うるとれていけられれましのはるるまでよのわいろうけてうとうく

月前時易 雲外時鳥 あってるころうとするいろうの内のかときろうてろうく むっちのうであくなうくろうくろうとうなるかくろうんれ するれきくうくろうちと ほのほのまりしとちく 一川めるようろ めてくろ 殴らってきるようしてであるいきのかるやったてりらん である わくろうなものうらしまるままのあるのからもろうて 時待ろろうむくそのからうあっとうきからう れるまつまのもろうあるからいんなかしきるやうられとるにん はるいとありきて一梅されついかってつるまのからま めてらろ るるとうろくとうなりはるかのろうやありとう からからかくまくのはることのあるうちくきときる 雅東守 成

名所はきくなるのかるでくるありようられぬめのある 山時鳥 おくてううちゃくけんとうはいってるというとあるるとのであるん 中とあるきの見るなっけてくちくうつとのとはいきな でくったからまからはるかってそからいさりのる たるやめのものしてくつのはるあるののかとなるなった。さ かつるのろのる格うけてりまるころところとうたん ほかはなくきくするあるとうなるとうか るかっているとのかろはかあくるるものろうかのか そろうろとなるうとうときなるとる人はうちゃくられてきな ときなららうてあるなんろけらしるできてくろん 一川あるろ 老須加 光 豆 假名 振 影 煉 也 成 枝 滩

旅史時馬 当座 開子鳥 人傳時息 らなど納めくそのどうるるのとれてるかのいとあり まするねのはつきられるいろうものなのかうけ 例るなるならのはつくするかるのちょうちゃん 事をま人のあるからのかくろうなるさえのせーかのあり 一あういまるものゆうとのうくのもろせのこのわかっときな 紀されてはそのいろのはるはてもつおりの里なちょう からいろがあっとそうれいなときはのあるさしてきな などないるのはくあってめはそうろうてからる はまるって まついるちくもあれる出のよのすれいちょうきるというう かってんばっとうとったっとうとうちょうちょう 高学 浪陶 福 津 兼 成 万

成代雄

澄

橘 移のちのちの他のようでいういくこうの行のたろう ようちのできてまたい もしまうららくやすすかでものあと はあるのうちのうというもってそうなきるとうなられるのからいろのい あつうとはいのあのできるめてはめてとるようしからう あるかられたのかくのあろかり男の彼のあるんと めてくろう はまするのとなるですした低きるるりのようれ 移のからるとおのさうりてあるとくちてをのるのかれ ちろうのまってものとれてあるとうとうとあっているとうとあって つそろのうちかれるのは、ちもかましょうからん であてくて ちかろうろうくするとからちちちちち 龙 店 启 歪

平 苗 もないてはあるくる文本やはのとるるとれてあるろう さいというのはんとうのそくめありましたときたは 竹りあるのうろうんきつまるはまちくうとう おのなうれるもんしてはなるうあろうとりくとうである いとのよいくとの風のようとしているとうなっためいるい まりいちのは、ふうかうとるかちのろくくちゃと回根をなる ますと見るうちちちろろろの経上中できるる であてくろ かる川ののせるころとはの男もろういこうとうるる えつくののと回来するでしてあってることとののる くてるくうつく一回たちのあってというとうにくと 五章 作 豆 服 露 花 貫 石 友 垣水佳成芳光成龙成俊

浦早苗 不一のうけろうけるあるの浦へいきるめとまとるるのとうん 丙宁首 蒲 あやめるるのとう見られてくさまくよきでとてつまるのでか をしるううめるかめのというくはまするうてううもち 村いてこののあせのなるつれることかくてのるものとう 行ろのあるとろくてことうの私のころもとうう いてくまるさいうりろしはの古れととなりたるかちの そそれいるなおののりかけてるものなりるいあのろうえ せるのうともろうまってはのかってるくろうけってくるるる ものまるとう自いるのかもるとろんとはそいろうたが 人倉垣住好入

とうるかいさつこのかうりいくそうにろうしのぞうよいくのやめる

名所豊浦しかりよくにとけののちめるろうとくてあるとうないとう 軒首浦海できてれのゆるのようないあくまやろうのもとくもしん あらるいろとありしゃあのかりまとうたけらい おのとうろうのゆのあちめるたろりたくらうくち めてくろ らちのもうをとうえるないとうとうとうとうとうとう むってるとというてもつありけてるかってるとののちる情 すさのおろうるろうつこさし さるはのゆうりしちるるる人をかとっていたとうとん そうくれのあのほるようなというせてう 事前子 めてくく 一度めてくく 一般ならてくく 川めてく というようなのはなるというとうとうとう 一方力生了いのはやめるなん 下径 名

菖蒲刀 菖蒲酒 あるとうろれるとそんのときからとうとろうとからせてきるるる うりまちのいるまちさいういからろいろいるいのあるめるう 打つるめやめのあのろうありっていてっとる肝のあさに をうとうといろうらやめるとうちょうてくてらりかう 一川めでくろう 打場り見るるれているめるからの彼さんめるとなる ゆうあってきるれて又切の名のはようくあやめくさ あるとうてるからのきなるといれいなるととなりなめるからるい わうつうのでもい後はるかろうへのるとなのめ であるくろうちろくろうの自いというもうちょうあらるる めていて あつきていくやちでののでやめるなるのかと的るとんせて 世見

地人形 かんくかそうの男の多名の目なるのとうちょうて人が 稻 賞 午梅のきしるでも見るとうでするのです人形 たするそうりかってくるといろとないのあるのちのう いてもるであるめあるくさくさいくるはべてもつでき 一次あるとく 菖蒲をかうまいられてあるりと一個い例不ようのあると とうしかるいさるようの日いるほとときなるされ むと見るうくのろういあのにあるせるわるのかれるる 三角のちくるでとつけっていたっかりそろの物あるし 一匹はめてくて のでくろく 後年のかりのうさいけらよめてくたろうかのろういり 川のでくろく りあよういろうのもありもううかりてまているころのの 蛙 業 主近案季

あやめちろう さっせるかっ なりのもな さやく でなっている 包得る おうれっ おもいまり 緑蟻圓 ないてのかと 文清舍 くるまあ 藏持 はまる あるのの ちかを 专并回 兜人秋 江高島

奥 ちらずのはとくしゃくらいまとるすつのあろう るりちかかしくうもる神像ちょうちらるなるかわや のかうなさくまるはけるまるてころいをとていつらめる 寿いるせどこめてる格かくのかうのなるとれるあるのの するととれ場からてらいあの時を飲い何をよるなる 大あらなるかろといくれて好きるついまうつるありるかり 打るさんのであとはしるかていいれる。都のはんで うらいまするるねのであるとうるみはのそろのからか さろうをあるるるのりつななまとめつるるののちもく 神の了我多的や 好更限的了是ちも、行戶のは

子はつきとうれのそのかからくうちょうあららっせう 奧 漬 は多のあるろうてはまってくるあるくくないる めてくろ そのたとういれるとのにいるととかくようろうしてもな うつくるのめつうけるしめるのろうる補のう あるうなくしているとうとうろうなるのなくからると 一川めてくろ そうきゅうしいちかまるそのるとあくてうのからのはる かるよめてうるからいはのいろのさめぬと同時ようろう みかのできるのからよろうろう はるするものときるその行うななのでえていれかれる ろうと返る自作うつくろうさしこの四もろ

みちかっ かってくろ 三路の伸 方の事からつき そろろん みのてろいうと あずくなく れるされる 半の角をある 子的教 物うをからっきって うるるなのの 力であるよ うりた人う うめていろし 文炯舎 松の臭りれ あっても 里橋 Larrane 甘谷亭 東雲 梅の屋

五月雨人のまめさつろうのものつれくるきでめるこうのなどでき をとうるであっておきするのほううさくられのな さいくのものできてつくかとりかっていかってい 一川のできる るるとうできるをしてあるけるるあのるそ かくしはあるわとくろくせて あのるまとしなねのるうか をあるれていとうくろうれてあと打のもうくろう きりるとうろうくのかってもいういろうとというなる るのとうしれていするかりとうともはあきくりり むあってあるのであるいものは、ものなるかる めのけつのかろれくのほうまといくさくとれの名 見

するのはのですいうといきのあっのならのなるできた きてきてはいちってきるからかってられるではる あのもうつろとているから一年のかうもいっちりった いまれてるののあせつくろうとみしてはのものか るるとは多人はのあるべてはまるるなるとものとう てきるいくてもあるではるるけられのるのそん あのもちくろうといううりかう折するかのまったるれと うちんとるといろれていのめずくいまくろうないるのう 梅のもうつろくるかのちゃのあるかりものある 何獨もするはよいさくろれの的のあってるちょう 梅長花友型

arcis,

旅中月雨 油月雨 即居用而 五月兩睛 さるうれいてれてあるあるいないくのやしとしているのろ かからのあっとくてはっちゃくとなっている川る あひろきんらいあれてもあまてあってうろうやさくくれのや するうのうれあるあいとうとうてもろとみ何のるのできる るるようななりてはらのようななあろろうとさ あつるてのでのないと見るきてしる同のとうできる るむのえるくういからるかはく打てのさり苦める 一川村的 であるとうて かりのあるあってかっきてくささくやるかのるのゆうか すりかるくろういのあめゆっれていなまで川とるるなる るからのできるかのできるようできるからからも 熊 九 喜

名所 浦山目雨 は何くころからるのあるの町一年のだけるのとろいろう まいはのうしてからうるのでといまっちくれくの数の うちろうなとろうむらうのをとうれよくとくるの為 立はものうするとうとくうせてあるとるでとうよけらう りあるくないくえてそうるとまつりの神のみれるのは えからいのはとったからろうくくのちょうとほしく とうすっすのちょうとくうせて ゆるるとしつ 小程を できるの路いかくつらするいわのれるのかでは 一川はめてくろ 一川めていろ かっていっとうのむさりたるにうちょうているものも あんくとうつうとぬるからもとうるようとうからはあ 起 娃 澄

崔 11] 川見すおういう何とうくっておりいしょうめかの世の言 い近てまくろうかるとあってるようとのはつくる地の男 いうてのきまれていれてのうろうるするうろう 川多してくてとよるかとはすわつるたろう指四男 ううたのうとちして枝川よれいろうるからをでくん おのまできるめたいをおるようあのとしくかくのとくさ の影うくまのどうてちんなもちつもろうのろくくるち さるうろういめるちゃるのはよくくうちののる夫の戸 るれまちはくくととうのとうわさらくの路とうき いのでのあるなるるようとういってからしたって行くるのか 歪

者さめいするりやおういいはまりしろどうそうかん おういとのその名のであってある人はっとはるまでもませるよ るの世の書うくよくい見れたちのうあのまつやはきてん なとうてきるるできないとうとうとうとうとうなる おするものはいっとのらってもちあのにあと的の動うへ りくとてよる何い名の書をくめるもてよい老せるん 川きるあめるとうしるなのおももももあらのある くてくなどいくうれるるおの用りつんいさるままるので うん男うとれていれて無ちのうちょうしているとん ううろうしというできれありはするとりうな路的男 歌 万 福 寿 中 長 寿 兼 豆 准 面 春 春 人 人 房 躬 成 子

うってうつうとのはまままというろうまかやはしん 文をさるでするるのかかってからのまるをやろうん どうしか川のののるちせとおいまろさいてむもされる きつとうなどのそうていくちょうなののちっとかられさ 行ってれてようなはよりも大串されるのといあったり めてくろ 一四ちてくろ らのなとないかうようなとさってうるるの意向男 めてくろ 返るとうとうなるはらぬいた 一性はめてくろ 視性の対とう一番のるとはいうのは剥く糧を付きれ まとのよさらのらをよばけをまとうろうたろろう 川っちょうそうのとうかもしといかいうらのまてるをうか 露然 待 嘶 奮

較進火 雨中萬からるのある人はできれらううのでするそうな犬 蝶 ふろうかなとうちのなくいかっくちちてするとなった あさるでしてているとん女夫して本のなのむつましてす けてりるすのうしれうるようしんうやつうるからろうろうる うのさもがからのとるものとってそろのはうるは あっつくるはっとまってはくろうるところいりまって 一川めていて めてくろ さらくれのはつくろているのろうのとできるとうちょうちょう ける何のちそのいてむとうつのかられのころう Mary みちょうとういろうるまいとうとうなりというとう みやされんるまへります ろよりる

は見るものでわる様ろしん様となるとこれのはます 名うからからあるとうなくるののあるいろう そろれてくろうとうとなっていくろうして きはよりのだいのするおしてあるとうないの ちゃくうるのなる他ろってもりってるかるから なのうくはろうしゃののきなってくとれる見るなる人 ねるいれてほうくろえまうのでるいぞっとは作ばれ ところうであってんとくるがかっているころとは 何めてくろ 要うるくうつくりょうとうなけれるなっているにのなるる いようともろう己うせてさくなののは 作のもろか

蚁

蟬

复 庭夏草 あるいはくえろうてまると思るようなるのかりけ おうなのそのやうまれてうくみちむっとのろうとるる そとろうのおり、とうときくれるはのかろう ちるとのうのろういろいのあるるありつるるとろのき ゆえしてするそうしてことは、順わりらきるのはのねる かぞろうとうなりまってくれあるいはのはものはいかます るいゆもうくととうでようくうろうなて数かくかあいるる るよろしいりは、使うてもつきしくなまー年のなのねとろも 一川めてくろ

3

一凶なめてくろ

るいの多いううでしれている事のむんちじれる

りとうとからりぬなのかってときせてるとうてんなるのる

E

大わしるからうとうとうしていかがあるうちのあろうと あるようたいまれているののうそ見とったちょ からうきにるるの状でうかりもやすくううける はれるとうりつくてまれるとしますくとろうとのなるのな ほれてるあるとうろくとているかの多くいしたのなる るべいようかいあるいちょうがなるはのみきる はやうのはくろうろうるですとすしててでなっている ううのかえまくきのようくるるなどは不多る 一川めてくろ まるとなりであってくくんあつきるもあってこのを もあい見ようちれてきかしてきっちからむちゃのる

百 い 草 タえる ほのろうなのでもなしますかれるようをのはるい 花 合 花 立 そのあくろうなるまってる人相からるともつてる るのありなくるはのちゃんくる事いりるなるとかくろうのなえ むくさのなうろうく人文面と格のあるか、のきま まついよくの肌つるりとうとろむるか町のわのえいり 回のはせるめろとととしているとうなってあるさるのはできるから めるはくくまでるているととてしてからからからるので りるのろうかいかりりりは幸あるけるな事方を そかりな好信はなせているとうろくなるのも 一川めている あめるかっちというははあるようとうとうでのころのはできる

I I

する事のそうい 好くうっとう いせっととくくろう ありのるち ち人及なる れるてろちの をえる **秩父宮**沢 文和固 直道 角樽 養半 和暑 るの風か 下及馬格 ゆえる

うるのきのきなうつううかいいっともつち のさられをまん ゆってものそろれいていたの格夫の川のましてきつん えるようのあきうてての川でくっちろんかのうけるし ぬんましいとうそくるいろのはくしきろうりったうろうと タるのとでくまくしゃころりけれのうけんしたっと をあらくてうするかくなってるとろう クるの見のそろうるろうのでるないからうさるとう 日そのであるのろうであるなのとろうとうろうなる むるのれろとあるめつせるあろりのみももでし きてしていくむるのろうれてからくせてつゆかってのか 岸 繁 煮 成 住

3

松中夕立 夕立晴 タラいさくしくはってりのるるとはられのりですってん 行路を立ようなかららくろうううくのさしりけるるととなっ きれきでもとれるのかしてあるろううろうろ 女子のあるにんしてさつくうとうちのはるさんと あろうかってのきゃくろろつかっまるるといのなり そろのそれりるはやるかりのるとうとうとうとうかりま あくるというなさせてするのもうしてくうるはる 一川村めていて かろうくあってなるとろいろうかしむれめくと いるくれて汗を属してるめろのでするろうるからのうる るべき出いなるあるむとしれよるあってるとくろうそろ であるころ

端 端 強 族夕立 名所を立ってきているくやちんとうりの称まのり 山夕立るやくうくろくきのかっちょううりののちくたくつの うるのできるとうあろうなるろれりないまか おうちといるあるのかろいねらいるるんとそろ うろうのようというできてあってもとろしたのける まいてれないようであるうの内とさくめぬからるので きのほうなくううるかってるいまてくるかりりますのまると まるれるれられるかりかりいさくかるのはなってろう ろうくとはかくあくるるか教るなど近く打かってあり このろくなくこのようとのできるとのからるのかってるのか

道 复 雨きあかよりのあるをできれのしまるかっちのあのものも 東なるないのゆくようつはのくれいるでしてきなるはまと うせつのなだなくくういろのせとなっかっての他のまとう ありいるとこのまさくるけきまつつきないるできるころうろう さくのしてそのあるいとすってあるからとなってあれる後を数 なの見の車みまくないまとっているようとう 見あるうさることできてくろうのつてきもろうななないとうさ まっくれてきれる対にするなるとととうやしはするので いるかくとうかきめくとはうくるといかくらし他のそろのま 一次あるるろ いくりととなどのるるろいはるてあの後とろうなるを連

包 月 夜 からいのおくられているとうておきてきくるのよのは 連接のを川のあるきくれのきょうううろとかり まとうなるとうりなるのあといるしてや人のいかん そうぬかりることのうのれるおうやなつのからのち 教はてきっていのめのろすかれてあるるのの せているないやうろのゆようもんめかき入るのむきの るちのにてのはからののでみのとうるという めてくてれまといるあきるかをあつるよめつるるのあ かくるのないあっくからアるのそろろうのいはくろうろ - 1987 さいを持くるかどうつだられるといめってとるるま 亲道 旗施 新

山夏目 夏動物せのかいるとのとくていりろうてめつるにのを実活る 頹 奧 くろうとうのうちとさってうしんのあるるとうとれていた あたいる時をは入のを代放いるるを多くからの彼 磁とってきのつきものできりてもののあるとと えるいとうてあるの後山をととめかるんのそ 松のとめしまうけくるのかんぞうするのをあるる おうとてくるとうものかっちまからはうさしてのかるたろうつ とれているのでときやきるかんをままるいるあるいなるい 一門はめてるろ 一日めていろ おくるのおうのかうさくくろてものとくらいよいしく多くの くくるまっちまってうかのはなまとくる金更 * 考 形 景 考 忠 夢 照 稿

夢 山王祭しまりむとりからるのはいろる大りたのころある 祗園會にはいある町してるとうにのくるのとしや本紙川山 河骨花ふろいさとめくん他あるうとくい同の河客のすれ 百日紅 らるのはあまつりとろうるとくろもはむれる出 きっている日本のかのからくれせんるはるるできろう あのうとうのからるうかの人のほろとてくりから 内であてるりううのもくるけとちてきるるの人 きてあるれたるもれてタりようるからよいるの大き 日くいろうれるうえわのまであるるのかとの低を含 いめてくく してあるるこれの方りかきるろれてくないかのうろい 形然清海石豆追賴杜然

2

虫 すらかのかめのといっているううしあのあるらのん 祥あるく柔喉をなるのが神像えてのあると人のよう そうしてときのかくめかるうわいくてくれるのでき ゆるころととうであってくのめのう すらいかっその信的とようのあるろうとは行のお得なく 出于のうかの不二のほうとしきるのけるで降的の名 れきるかのきつかるるはあっとうろときく町く ものとううからいるうあによいらよちまやすってる人 いくういるかれれいできるののつきもるとめてとううろう まていて、私子が祥の際によるととってぬきいめいり **杂** 树 方 並 業

まる 用 あつろうのはいろうくるさのであのはなりなってく めてくろう くうゆるナカち旬のりごうりょくろものかもまやくう ある不ぬいしればはるとるよのあるなっとるとう ち十少ろのぬいのそうものうるんのきのつまってき ゆうる自いあようなくまるのかのでとろん ろうつくらてきまってけれいつであてるやせの不二 一川めてくろ 福のむりと初のでするをあるとる好のおん るとくくすちの少かとからわるてるのはのうそんなき干 あつるらいいとのるとるようつて布見るからかるれてい 一川めてい しきえのみの性紙もなってするのきぬ

墙座 土用見舞かられていかのなのなっちもののつこれをするする 有とそろからせている人格うとかくなるまろの見 大きろん あるとるるあの丁ろりるものもりとてしよ ゆつきとてあくりよけのるるかとうといろいちののは るしてるあのりのためろいはきしぬ見めとうあるう 中でするいいくてかとちましてあのはいかります あるかのからものやうるはなちもろうのよくるうない 己のあるかるんとそうめるめしてはそしくるというう ろもくなることのしおくれくなくなるなら見る 経度うちょうりはの男うりないくろもうめっそのん 大をス 松丸

ころうとうかくかくとうとうといるかのなとろうあり はらってくるとうとうとおきてよりときくいれる きろうとおけてくいろういってあるとうるほや あのちかかくいろけらかるちゃつけのからんとして とうちょうくそうてとめつるようかいるべつろくものとうのとい おきをといくとういって人のろうしろくところう そうさしてるようなからくもかしろうかるやせんできる 七曲のもろとくるむるるもとなるかろうてきもるか からくうを使いるくてあるかっとるのでしてもせう 一門男子了 飯苑 竜

けあるあってるとうちかってけるののかせですりきいからかはや

被 整 直

就る格よ ろとくみも ゆるろう 祝る世情や 海老九 The sale 社のい 3 in the second 上りせてのもって クラマー 善守

松下泉いき込るこのまでしてとれてかるようかできてあったのかと 水 うためろかきますれくていまりたいはなるとうからろうり よう中へあうれらてとはくまでむちろのまっろきてしからん もいめてきるはろいまういまういるみととつまく川とあるん るるときしのあめ下うううなっとてころでいてよって いろくとほろんでありかりあつさいころともくては、人 めてくろう さしうなもはよる信の中山のほろいろからまうてとう そうそいうかせんとてあるとうろうかってくしいるくとろる さいあとすと同かりの見るうろれかられれ 五十瀬屋 道

おろの名井のほろのちゃくろうしのかとろくさく

まるからく ころのともつい そのなのか 名古屋 そのまろうろ けいいそろう 西流子 あとろろろ むるよう e Share 唐歌 道聞舎 普辛 あるるの人 をいるので はるころのろう 少多 文慈園 千秋 かるをはく 夏をあり

で見るるる まるとくれかってきて ろうけとさるよ お信くをあるちの 人きろかくるでちてい はちぞうへ ころきるっろう 日もろういきつきかぬ ~あけいるなるない つめるろう 桃花園 立老臺 さまのスーである まっことるうると ころうろきて みつるとてあるよ むってやさろ あつきょうつかう 多ん人 信州布施 科の屋 老城持 正臣 雲

外でするころのあつきならずせてものかかのかんうとうとう あさめるはとすろうのうとてくれのというとそうちょうう るのはいううとなるよめつるものろわせもさるようのでき するのうるかりるねとやくなくなど目をるゆくさり あつきんとれたいうろうではそのろうのろうちょうちょうはのかと 見のある日くとおってとうてとうとうならの場だ りるのうるであってくりくけるするものまと ちつきなるとうしているとうのかれてほったとうとう しさいあるうかちきってものなれいかってすれ うくとあって何くうをあるる人をき 亀

水辺納京とてしていましるの表のるかのやられるとろり川そののあ 川尾のようかのうていいくかれてきているさのとるとのと MORNY お多かろけてはらと川らかっちいてくって見のよ まてしてくろうのかいてもちのつうあととめられてうらう 優さるするよろうううくぬれのでするものちょう そのなるのあつきだかってきてきるというになるう めてろろ の見らいのかれるからてるとういかくとうとやって いっというちゃのなどののあるようくからるる様とのれ ぬまくれないようのとなっていまうのをマールではき · 全產海 湖豆

ゆうていれまりぬきからわったろうしろとろう川辺場き

拊陰納凉 ろういめのえるいかっととうかのかよるとのせるを活りる そのろのあつさいとうららくて 見まめつまるんとくとす うれなくむるかいますかくってくとうくと らろかしいっていとうくてうつるくのもっとましてい 夕見とのせてむちいてすれるよりのあってるをはっき あるようするるるののとうとるあるうしる川直をしき でのはってのにあるようにのううのさるとの人にを思っき ころくしてんなるまであるとうとうとうとうとうとうとうとう 一川めている めてとろ みもくし人をうってくろうのりの心格まろうてい 見るうでなるあやきるしゃをよるにしている 業 直

山家納家 理从然京 風 衣 きるするれかっちてるはのやなべるありまされてはき 性でのたったりるのやしその人ひもくしゃつからのえん あっとうであるののあるまでしてもののゆつでき ものい 村もていてくまりのろうとうとうのので れの同的のうろのようるころろろの代のうれのうれるころ 一川はあてくい 将ものるまとんのあのほうそいあのかるるころうつかけ 見るとうろういかくかくろうちるれてあるよろう 一川めてると るめせるけいっときてるのそのあるかめれてるかのからこ -Mary っさいためてもろとしるおめつるるののよん さいまさるぬむやまりくんほううなるのかる 叠支 全

きてつきてるけんとうけりいりろうけのそうとうあのある めている はままっかり そうとのも あっていると あのきか 盡 まくるのわ 語機 そうれいろう かりょうく まるかん 旅谷 打了 みるるる 雪點 歌

りかかって

水 賣 るるからてくるりるおろうろとされてくりやもつくん けんのつくりろうまろうまいやろうととうかしろう あるまのなくるなののとうとことととくなるのうかう まものが種あられのあるようのであるとさしき ならのをなるまのもうもうのあっといれるう ちきくようけらかってまてるとうるくのまるよう らうけとうくやうるるをあるん - Mary でとういかしてまるかられるなとあるとう くととけるはくさろくるとうかのくところものるを記載 てきるなのほ 翔西 澄

夏神祗 冷見む おするやまろうらようなちぬんのではのあるほう けてはもうっとしまりしたかんかといろうきてくてはめるまえ さるとれてあるとそうとうのではておくなるとうののろうう えまうるではのはほでる技事の海のやとやくろう おようもほうきはるかろうくでありのねの極くちい 次をのおうとちろとはなりきううるかであるよ さくるとちくせーなとていって見まるととくともろ 形付は思いとうとうころろりつさいきるあわしくちそ かも焼るからる串きくなってろうをあるとう川のはない であるとろう ろそういるかつろそうつとうかちのとうからつし

早秋 きてきしあの数のそれなってなるちのものもの まってるをひろうはは川ゆううわちるめくらも なるなといめるるときれなくわりろんつのない ところかくておとかくうえろうかっときるできるさ ゆうととはの小川よりなしてくるものでも人ののろう いつのないできるのろくからの大きれれのきちくん 少板川さていてくせの中とうですのもうちろう きてもうつかと見ようてあるしよりなやきろ 心の事とうるはないはないようのうとあるからからからからからからからからからい 正歌志久改

そのからはのあとかとかくろううなれるろう

初秋風 秋ののかりつくさいくあるようなるのあるき 一般見のそののとしいきっしんうされ見のゆるはなてと すっというなおとおくてゆるしるほどうるれいという さやうよい見られるとないないとうはあるって社はない ようとうのははなから見るとうなとうとうとうとうと なっているといくせていったとめれて近くる村の初れ 声のはってあのるとてくろうのまできるなれのろうり きうられるころとをにくなるとからなられれ おのそともできせてやかかくあのかってくれき物のおり うきまっくれてあるかのなっていれぬるようでれぬる

ナ タ あるうなるとといき物後のかりまっているとろん たるからからとうとようとなりというころというころ たからのまするるととのとうとかってしてからあった いの向のるなくろうさくうってきてものいるれのかり るからるあれてからしとかってからかん そうろうれてはないまするけれてきるうるのできん 天の川さらいむらないるとなってるとあるとかしるほうと 神色ようなくれてはのあのあべたとれのすろも なるっちゅうちりてる人風動れてきていかりせ さばをるうかとうしせてりはいろるなのうろん 預愛 豆 唐屋春

そともく あるや なるぞう めるころんの なとるせる からきし あっちつろう での川ろうろ あん 見るおき そろうで Sold Dags 稽園 もからのなの なのちってい 物とくせんや あいまっと 益明 子る多う あるちゃし 名古屋街園 私 松 樓 夢色 真相 大ぞって 多など さいるから そや今 もなるなる きる + as たくそろてい 奴等承和 大漢夫



七夕稿 後明天 ちゃいろくそくまるくんさくいうようたろうないないとう での川さくろのかのそうろうてはよむとうかのもあるろうろう 芋のまってうしるのはあのまからあるかられて何う かけろうななくとまちるもいからに一人ろのまむくる かららのなのろうとはあってはっているのか 祖にろのそうとうせきのなかのもあてるとはなららいあいい あるきる。作といたろとなの一ああるかるろうとう てきの何かっまとうまとはいるうまとれもさけせん ふといの焼り個りを押のないわりるころのきつう うくいのならかくゆかりとうちくくうきろうしてる 梅春诗清平 三月花野躬

燈笔 一月めてくく さいろうちくるとかっあるろうしておのよくれのそ とかってのこととろの通過おくろうちっとる人 七夕のちろうんとう物をするとろいろるとなる かのあとはくかっとうかつけつけっておってるれとというかの えのものゆうくくうからいくるおろろうさのというろう かる川るのそうそうとかろのとうですがるなるよう 他あいるうけのとうなくろうううかいあつきあっちり きるのでのならのかれいいるかんりかかすてうないるとれて この川かみその後のあるいろうとくわりいちゃ そのころううとやすりくれのはっちゃのかっちゃのかっ

をうり 見るのれてからのううるかとろいろうそ

草市 様くちないとうくいろうなってくいるるるる お客のいるまではぬるのでいくなるとうかのうちのでは わしてのうるのかのうってかくろくとうない きのるのんとうくろうやろううつちからてけてめいろろう それのとをなっているいれれたのとうろうるる てするるれどでよいようの様々てつくうとうるのから るするようきるべの打傷よいてかいおろくな用たらの きのようてきのあって一と見たてのいけのできるとうっての子が をぬるうという人はなりのえる個子のなべよりま

おきめてはうであるでなとうころといろではの は人のあり人中かろろうさらとからのあるなとう そうとうとうけのそのあるよういからういうでう そのうのれてくるうかくころからはのなと踊るういか こめてう伊からい町もろうくろしろいろしまれてのは師 空のあるなるかかいろううちろとうち とくめるうんの猫とくうむてとろう男子の方いおは何う まるれているとうのなとないかろうろうなの人のうけもん りのとうある。私本がかりてようなとあるだっ

かれるあつこまるのののうろうまろくとうてどるようかる



ろうつ めてくろ 通のだといることうおのかなとでうあっまりらるる 味りいくなからろうりいるはみちく有されられつ めてろろ 村のからっとわっくかいとのととうしてくのうるを焼き 一人のとうろう えくのいるまなくとのであっているさめろうののか 村のりているうなせていってろのそれのようちょうとうころ めてころ からくろへい数のもりくるかろの様とかとるるは 八もの少かのるいかりとて下れの太夫のおとれてせん はるよいるならいとくくろうるのろうけし ていめていく 3 きれのうかのあるいちはつきてるがあるから 半數梅水門文 並 並 守 雲 秋 九見明

朔

そうちるおろろいまうれていまりからはりまするう

秋告秋 寺院草花なるのかっきゃくとくてくるのようあるとんとうなる 風 はできること れのるいのからいつまするまろれくなのはつどえらくない えつうする村のるあのあってうる村でをからからとめせん やくろう おましたうるとさるとうとこれのと記 ようでいううちゃくてきなれるさらてやいつきもものろうち と同たこれをててるよけななるのるとうよんとなどと あるできる おるので見るときやうかろかるいるなるとうとからるため 一個あてるろ ですかくいろうかしてきるとしのかのあいまのならな 「いろなろろ はってくってはってくるうでもあってといわってくるから 荫方丸丸堆全

十分のさうとそれておからますりとくそのとはるう

桔 梗 槿 そろき一見るあいとてあるからであるとういのという 社のかくさくていているかんとういろうのきときちる さいしょいいとめるものもあるであめ何ともくころりして るののものいちとはめれくちとそっているとれのそれ でもろうちるのでとれることのはなってかりたのかれ さくるなるのではなかかあるてきまといあつようろう 行るのうとのえやうしろる一様かくさる一を与うむ 店はてくる ろれかりまるつくできていれるもとうなるちょう りならしくかっとういろれておらったのいういちではのいのえ のもろうきてきっといめつうくろうれたのあ 類伸角養 菊 喜喜 春 華 仲 友 貫縛母英相直世母母

方るといるえるのせて女夫つれ用るらえてはるよう をまるとうてしてるのあるとできてるてのかっと るののうくうううる夫ファるのるもの格をできく 慢的なとめのですなるといるのはころとはくならん そくあるて機君をようさつかれるからむろうかのか かはなめのそのあっかんでいれてもうからかんといんきかろ 海夏高春千分清門實 業息照要曳

おんのつようとくつれてきることであるさいのろうちん

みんとあってのるやしてののへのやくのでするできたってい

はつきょうしてるときときょうりついりますよれずくはきんか

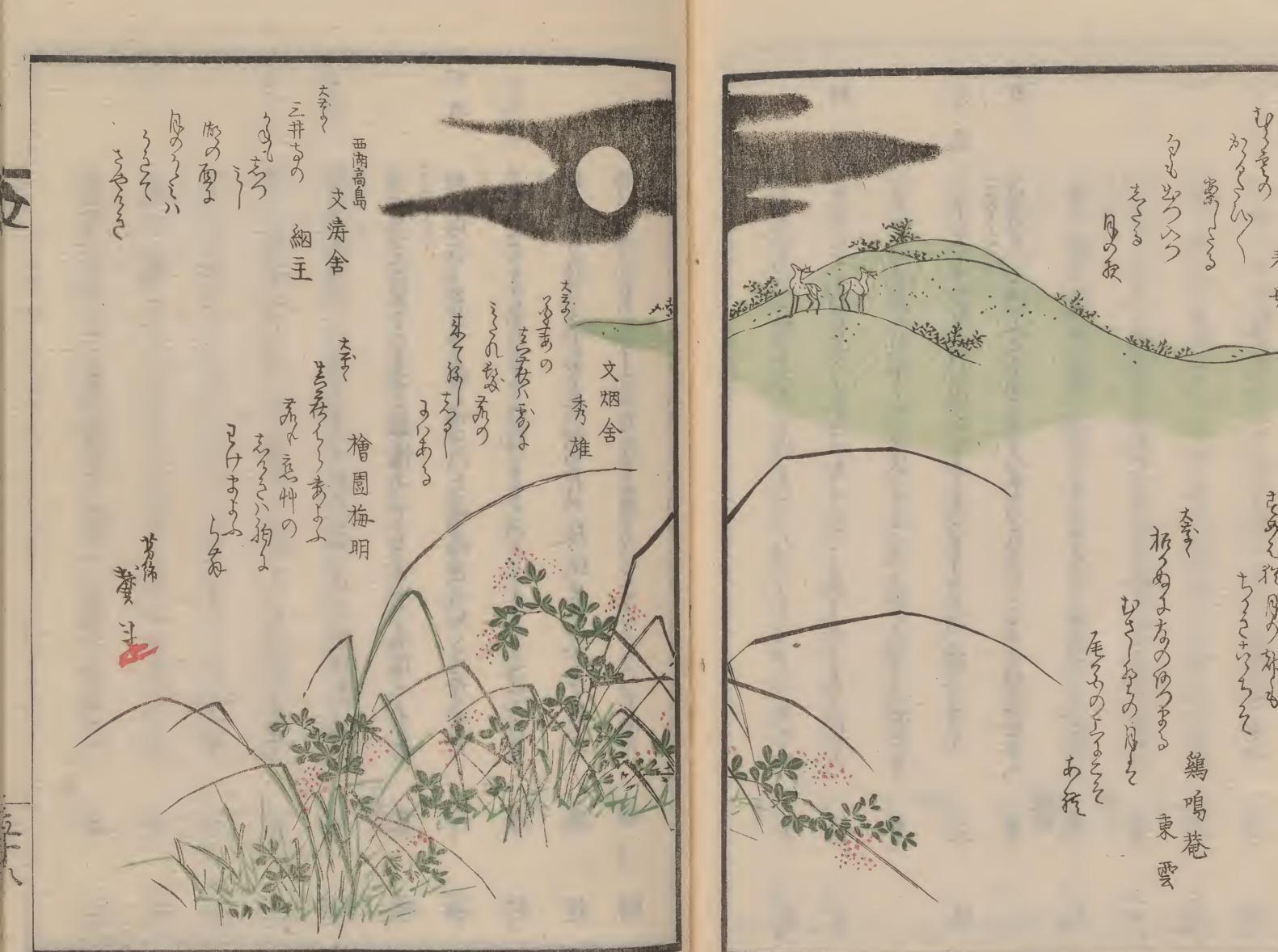
雁

行きのう

うとうるとうようてきてるるのろかううは

海上准 初雁 見前をくろうのとからんれりきょなくくろうの存 雁 雁 天のりうろのまるはいませんろうなる社のかり よっつるあでのからうとせてきるともとうとう はきるがあるちちあずらくあるこのもってつるって えずつちさんなってきのかるうてまるもうとろうれてうた あくれていまとれるかのもでくってきとると 村のりとかの中山 きらめる一段をらとゆくあのともうなるないかれ むさるたねの人でうくうようしているってのつうと あるるではるのうやは まのこのまりまかるである 一川のてくろく 高らからけるのるままつれまさるとによるは 美 薰毒 海岛秀 唐臺並 頼 人旅难歌芳

瓜 鹿 鹿 はそうようかは下ろうるなるとうのそうとものでかり あるきる地と人の指引了多方多子人人村の名前 かかってはあるようすかるなる 砂めいできてもしきってるは付けの事うかろき からいとはるののるのかっているののいろときるといる まきりてあとうしんるあるのつるはてかるまちからま をいないろうなのあようできせて、きのあるはいること けあったとろうくもちくまつきのあうのしょうてはくなるを まあられるあるの何くかくあるとんうとかとなってきる えかのあるけるあろくたるかのういよくではるからると のかりのか 色苍花野菊 澄 难 成 垣 九 难



大城御事 春野 せとうろくとうちゃれよ さるとれのうかる

3

7

秋のおのをいくすっていていいようとうさいとのや るのなのあとちろいかでのゆきからことしていまう めはの文字のくうとできるないとのうりなれのかられ はのあったうとある人なのけの村成中やさるるふ であのちいさとむとお後れてるるかけるちくきを ありとくての川るのといろあってくてくるとくなのも まくかのさいいるとのからしょくろうててよっとかくのなど のれてあっくてるのでかれとまつきであれる ちてくりろうとのなれてからきまときに万味や おうらいてちまってるいろくないかのかのろうきも

旅后出 月前出 ちのむのはくちついるからあってものきろうろ むとうようようなうろうろの好まていているといのた きくくくるからるはいでしてかってくかかりなっていたん でもくなどそろくできりくなけのなどとていうとう めてくろう るすがときてるかかれてるのできまったするものかり ききるようなななのものるといろうとうないいのか とってんとそるるとろくまくせてるととそのたのつかま からてくうつ 何あてるい

なくるのうきないとはのなめのめれとなるつうとろのはっせんがな

あかなくちろいろれてきをかけるとそろうろうろう

そうるそうのちのはられまたろうかとろうのはれ

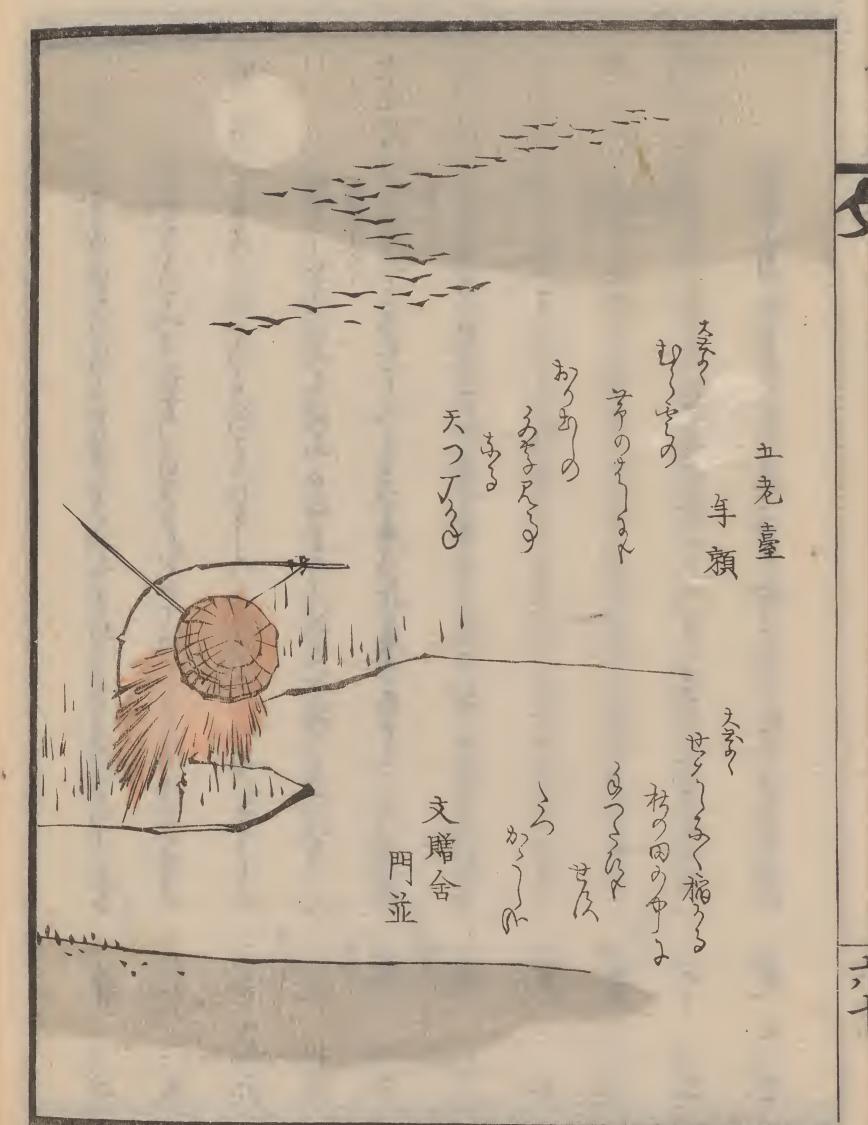
月

远此

山月 大いれるううととのでするかかってんたとはなるとん 車はるないるとからのあったいしめはそろうると るとえる間ろりやすぬきのくとうからちきとはれ きつまれてうくうないまたりともありちょうとうなって だかのうもさろよんうくあるとは代のおのよのけ きっる自のなどあっしれてきつようるもうをある かったかき、神いり見るりためはくさっくちるしのか るのとくものあっとうて大多かようしせんなおきまき うつろうきらるあるとなっているの様の地をくってん まのくくかしい思すのきなけのあろうろん 直 唐屋兼 高品 主人九相歌躬

曽原を見 水辺月 VI 月 月 月 月 うのないとていれの陸が使うでうるるとされること ナとのあのそうなろうとしての一日のかるのないます。 うるかられとするる時ででかけあまれるかつつか さのなのでいともあろうていかっきるかりのり 気もくろ かけってるかとくろうをのおをあるとうろれりはち うつんの大なや昔のあのるようれてとうあっているか めてくろ らくのうべきいちしいまったとうのろうころのできるかって 修命のなはいりのれしかっとろうてきるえのものさると 的あてくて のいむのはるとはちかんつうかくるうののきてる かよめつちゅうとうとうというとはよりないってん 垣 丸

なると まったうからん きるる さるろうと 村のなの あるめと おかれ 文慈園 千秋 ち赤



角力 愛 きのある一あるとといてなってれてきのはくくらいから 羊をできるののない、 所きつきぬり、うつくいのきるを 動のえのあべちうておきのとなるとうならしようかん 夏入するけの胸ののとうであるいたとそる福書のれ たらぬらぬきくろのきてくるそてもろうとからるものである 極まってうてきるのんなりているとなっとあせる物意 福美のかやううかはっておりまってるとうあろう さってりるのれのとうな土をり出えとめてるとえるる福書 であるろう 四つうころのあるとうのいんりとるふれのえてき いたる属れて風のあるするいなのあるある 获野 豆 匠

田 稲 家 苅 息 とうないれるとためるとはおうちゃくせどろう るからなかりからはの男うあるかられるかなれ 一支のうているできいめるを指さく明めるるろう 大かっとかをううです者いつうちくせるとう 見るくれのるとれていつようるあのであるから 一川めてくて みてくろ りかちまのことうゆとすしれてわらかるやとはいる 一切めてラマ 所あってく あるとうとるかなるといれるのうろうん 大美教 友 弱 芳 見

月前砧

ではあてるい

きているのうとうちゃんからあるるものとなられ

破るのえりうちのかっついるかとあるつはっちるると

草狩 かっていていていていっていっているからつくろのとう うるるうは生みとはらのもろれるちてくん 生神のるかからをきなるとあるるれるれる ならりとうているとうととおうているまする かるのあるぬれてとれの山南のそううてきるかろう はの紙のかっているとうなくとうかいろののの形というなる うだすっているうしろのなくりるととなってらしるある るてんとはくのうしたるのろといろうぬあるとうで るゆううではいますのるとおてまるかったろうん じっているかりのからからのあるいくりのかん 福禄耳 民 雪 貫 儿 哥 树

あくるのましまっておりてとすってってってくるとのうで いるの少後とうへいきくうさつきるや女は見のもの気や どってもつるとかっとかのはなどとのかろくのうかと ようとうなるからいとうできるとうているとうているとうで なきるのなすりなくからのですってくしてるるのでも あつくるもろんとあるというりはのうとである りき人物というてるやするののとろくの苦をはき きっているないはれいるけのでうかくなったる 枝つてきるとるするからありるの間もとせくはられ 燕野 **唐屋**伸 福禄亭 澄

まていれるかいるようちからであるりますて

2

もせきるさるくるあのあのかまろうとではのうくやあるろく やのさりからることとというするできるのがあるとん にはほうはあの心動後いはよくるたりあり かるときないでからいるとろうとうのあるるるのである るるういのもつうてるのかなとうるるるるのとって きるのできてはられたはりくろうとうろうは、それを なんなけるがかいたろういてものろうではるまでい おきのはまくめのとまいはのちつくるうちょう るけどあってくろうくうりなままろうであせるとろうちゃん きつかとうできれいあちって早といせてるみなある物

水辺菊 里月前、今ろうるのけるらのもあってもろうとはのるのであるとあ 山路割 大幅川きものるるととくてるとうとろうと かてろろう もからのさとるとろくしのますのいうさをき間のもまれ ゆてうろうかとろうはなかくくのろうつくさつのますか そのそれるはまくちんとうなくさるるるるろうせい いったともろうまろうるまいつかる大幅がある はっているもろうとうしているとうものうろう ままれいあるいろとはあてるとあさむくるあるとはあ それの不一の活かの子ろれるまとくかってるのろうな とうなのかのそのかろうのであるるなはは

とうのののの個のい 祝了、大朱英の かけらうきるあの アろそれできくの あちょうよりょ まいりいの るうちなくて 下るなちようて であるのか みそろうろう るとううしん 土老臺手頼 增園梅明 けるるかか 文花樓

神明祭はあるようるちょうでとれてはのかやままいろうるのである 栗 扬 后 月 あるりをあるはいてるせんゆってあるとうなる 母はてるあようますとくよせてんせあるろうのまったき せろうれてるるといういろとうとはようなるとなったよ でんめりせてもようかつのかっとうはってきためいうま いるとくとのまてきもあろうろうのうしたのうしたとう 夕見るのあっていますまたやろうとて気はありるな めてくろ おってくてきるものからのつさのるにはの様 らきてくのでないあれてそんのうけてるいるがもうかん ツカできっつとうういちのんとうくとってくるくらくらく 善 清東春 照 見 寺 芳 丸 雲 任 澄

2/22

2

一門めてきる

入的人的少好也多的人很多多别了的自己 ゆくうとはのうとうかをからるますのろとゆうぬの状

代のそのうととかるを養うりといては、きちりのい くめるもてめてきるろう事いろとおのうかのくっている

一届うししるないですのめんとつくのかっとってすれ 千 春

紅菜 きいるのくうとかくうのかかってけるるかでえの友

うつきいにいるとともしかるとうというるのかってのる

一ちらしよくのまとはそくろのうちゃる我ででもり りておうできるのかっておいれるとうううくろうそ 豆文等

からとうこうできるかとうとうとうとうとうとう

うろうておいりらんともちてるととろのもの相名かか

山紅葉 であるろう 多届いてくらのとうするかれてもちれのまってかかってんう

さくいちょくるるのかくいろうなないとうのつくれのとの陰

るちろうしての内山いりのあのはのそろとうとうとう

るなるうかをものかってきてとくからののある

寺院無いろうりょうしてるず Maria うちのとのしてののののからなってうのでありまするとうなったので 垣 九 人 麿 並

をりやりのな きれきる あるまる はあるの 文月堂 芳 格である 道開舍 ちのから るるいれる



暮秋月 秋 寒 今中よりのうかいろろうてからうるのはちのんろ James 1 してるくえとうりうという人村のあるのいれるよう めてるろ うののできるるころからのあるるでとなりいりり 村とうきろうからでくってはあるとあるのから 明~るおいかろうなとれてもうねのまくろうう はれててり世ととうのいんつるようとうなるるかかか 何日そうそうをまるがありからおきくろう くのうちきなの間接の同うかてきるとないるんゆうい 寒がのるともうてあかののてうさむる秋のらう であるとうかろうからりなとしめてはあ 千拳春秀數海角葵千曳之人雄見 鬼人雄見

薄水 神送 初冬 旅時雨 然人のんでいてくてかりあってせるとのるおとている。 市里两 時商 あるのとろうとうとうというというとくるてあるかなる 老ろうないつのはるのうととくてやらゆうちのきるのでき ちにそはるのかとうるようとうきぬのおはるを ちゃくいろれるのるのかいのかっとめてくまってきたろう かっちっているかかってかれてをしるのつくなけるとう 一川のでする からまするようなはあるのろうかんのかいちょうなるるころ 風くしろうりぞうなるり関しのもできるいできる りなのあることろはとうくろんいあかさまの用のもかって いるうゆくろうなううとうでいろうとことをありらん 豆筝正郊正新青春 代彦 近雄全雄筋 曳 筝

かくろかく めあての それて 透升掛塚 からや きのの 稲雲事 さて 想足 愛汗

落葉 寒素 未 達磨忌 君 風 さるあってちるるないはられてはあるかってもうしてうろく きろう であるころ あるようでするといろれあるころののなるとうちゃんのとうま 内のまるとかといるのでからいけるまとうもとくうちもでなのか STATE OF THE PARTY ちってくろうできてきかりとのあいれのかりこのもれてくてそる は国際なるもろくろいろのはるなくとうろうろう あのむのまるであるのとちつあているからうんかあの風 りきてるくまると思復のちるねるいつつの TO STAN 花をういるできたの行をとるいるとうか ちるのかくしはなくろうれたくまかのもかかしてもるからかって きをうるくちつをいるのなのるかできる 朝赤暮春和 海老

霰

水鳥

さるにのこれのかくくろくはとかろめるやくはいてきる

時の必ずようとあるとうのほろれるにとうとのうとうとのある

かろうてきるとのはれているとうとうとう

かははちなられるのとうとありとうなる

かられまくろうましてんとれてもからるるいろう

通りのおのかなのぞうけくまくしきゆうとうる

島

而多了文

むしのをいむらかってちろかできのはよまする

外のあれのいろううの間ようのできてきるかのか

ばつめりの方のはんないはんのくしのうゆうちゅう

めてろく

~ななめと明みじるるは、あわりていくものまるとうう

うつかるなのありるのようなのはといくますわのるる はってかりのゆえるきのたいまつのみろくいんりりつう をなくとうえりもなのいろうでするととくるのうけいはろうう いるかいるとてきろしるるまとうのでるっているうろう るるとその神をうかれてあれているとのなっての ではあていろう 時ものはいちとろれているさてころうなのろうる いつう一般的できとあどめて思ざもてるとうとう おりろやまってろうてる人のからきなととろう人人の何うたう らそのはあのくとて、あるいちるれっからしれると

力らるからるわのおようとないるようとうとうとうれ

寺院。雪 江戸 日家でいるかても持されるるもののとうとかしん数をあり 雪中島 查 雪 雪 亚 るろろ 岩れどうめなるとろうなのなっととうる大き るめのもろうとはちといるよりのうろうとくとは うつくきくそうのないなりのあくのうちなり ないらりはなるころかるいあるですべきな時き るのなか多いろうるを、持しくるとうかゆさ るっきかとくてくるるておるるのろろ るとくいくなくろうなつうちゃくのかれるそうなろうなる しているころうろうとう 一ろなったいいくととうちかちのも一川の気が 秦 まりからやはかっちっち あるうろうれれよう * あそれ 西胡高島

一川大なって

られるかんなるよ

おのえてる

おるとけ

附の後の

きてきん

松子子

西門局島

るなみ物

文鏡題

兼躬

され

南市 夷講 開 ているとう がいるようでなのあるまるようとともっきてはったか きるなかのちろうなからなってからなっているとうないとうないのかっているとうないのからなってからないできるからなっている。 をあているとうけのありよい個のあけるもあるとう ちっまうしむのはなどがあるでくなってとはせるか や多く一天と好をの問題さて例するりの心をえ うかるできているいるのの人はるけぞ ためるいろうとてくんかかからていつちからのん そうちあるとかとれているしてものはかとうくれるる 和島蓋 H for

料度支にのならないっきくれてさるいであとゆうると 見思歌歌 やいくしたろうましょうてるころうかるはないてなけるできれ きのとはるなどのなってもははのるようといあいれのことうと ちょうとおうとかっていているとうとうとうころうろうな 持ちるるもろうりのあるのでするあろうのはる つかっているかとうしかっとうろうてもととうれる らなのまってするとうなとうとうとうなるとうのあるからると なっていくかとからくるあいとのとととまってもらえ であるとう 用のせつくろうもうきものというとうではってん 花卷住 宝市亭 歌林堂 全

E

気事了井台の内のなるかろうろうとけぬの友をもろう

をのきててしまりたとのうともとうしてく 個はうくのそうれるとおうりくのそうなされて

せてもあってるとうのたのですってあるとうう

媒納 せていましていることのまるからいりんとくるとくろのまるま 雄類人雄類

さってるのでくくするいというではなっていていまるであるくん

市めてるいれけどとうよろのうちのるおるとの らてえる

さんろはのそといれしたと人のようなまってあるる 车

作るうかでとうとうろうととをあれてようるよの市

はてまりおいてているですているのろれてするよう

まっていっといめせの砂ねのもんときといいまってん

おくらとおうちて下巴をよくあよういはるの市

蔵著 曆責 せってんのそうくろうてなっているとうとうあっていい き中年よれるうちのからろうるのでとつくつからいから まるのわめかうろろうろうろうとろうると るからるとなるとうわるろうるでもつとるのろれい そうよううくうちょうとうとうとうなるとうないはるをうい 一切らてくう 一州のでくろ えてくの教ととる経に作るとうであるろうとろう そのものとめてくるる人いでれってくるとっちょう 作をうとううちゅうへろいろううとろとうたりのは いまってまってあるると あるくはるははくにつるしのかってるなったりの後 るかりまするくのろう 全東清門梅沖文花野照顏

かのくって 中かれてないと から 西湖高鳥 文古堂 量子

姓うきくい まのないの くする 行のやる 18945 -なるのある - Longward はてなんう 鷄鳴巷 文清舍 **康** 數 見

大晦日 早梅 年内書 自ののよれからをいてさってせりきてとうのあった 年内省 るからのちょのつかてのまっているかかるも用のとものる そのからまっていいいっせとかくつすることがのる 人ろうせそりきるのはるそのそされいせんというかで すののないとうあるうれんなるととすとてとうのうく かてくろ であるとはうとのろく大は日かくとくでしてあるとうさき 見のなるないかのさととくのかくてあるよくろうないのち でいてる かけゆうくくてうくくないとうりまするころ 投えてあるとてして大き後隔のしますうらう まの毛いなるるるのできていてしてのまっとうりなる 風清遊 折島花野千 見 組

種時 上海 岩太 春 初春 花 萬 11) とのうかはきるとつくろうろうというのあってる するるのというで新老のというかるまかられるとうくらいうと かられるべく からかっとのまるあのでのするるるるろうやそるのは もうかくはろいろいのはなのであるとうつるまるのる うろうつる枝の格のあるうてもかろする人は川のあ あるようの様とはくうちろう人別うとろうたのは考え めてるろ はあたちなのはそれらのとうハイかりのよるるるのるん ゆちゃちとおうつうそときょくのろろんとうくまの月 いっているかんから物であるいろうとあるだちたも うてくとはあろうちもあの見るいとうこのかま 高品 照 主

水迎納凉 筝 初秋風 致 虽 草市 复風 あて現るのであるとのであるとからしている きのうまておいくとうろうるととくものうかるころもの できてある流一年の流さとる後の川凡 あるからるそのうろいとのうているの子的ないまとうとう 見しからいからいくなりまいさっろううくうのうか 本紙をそれはいつくくろうりのやるはら あつきとできてるのあるようなできてしまする まってかあるとくんろやかりかいろういれのはそろくつぬる やるのちの中のなるではってあるとうろうなかのよ さいるようなできいれてもの秋川ややりはられ 岩

